

第70回 通常総会

農畜産物支払高 41億751万円

本組合の第70回通常総会が5月22日午前9時30分から札内コミュニティープラザで開催されました。総会には正組合員178名の内、委任・書面議決を含む127名が出席しました（出席率71・3%）。

平成29年度事業報告、平成30年度事業計画の設定など7議案を審議し、全議案が原案通り可決決定されました。

高橋組合長による開会の挨拶では、「昨年の営農を振り返ってみますと、4月、5月は好天に恵まれ春先の播種や植付作業も順調に進みました。6月以降も一時的に低温寡照の時期があったものの、天候に恵まれ小麦におきましては収量そして品質も良好な結果となりました。9月上旬は天気も良く収穫作業は順調に進みました。中旬の台風18号による大雨や強風によって圃場の滞水やデントコーンの倒伏が発生し秋まき小麦の播種、その後の作業が大きく遅れました。また畜産では、飼料価格が高止まりの中、生乳取扱量は計画を若干下回りましたが、個体販売におきましては、和牛素牛等の価格が堅調に推移致しました。

このように昨年は作柄に恵まれ、当組合の農畜産物の支払高は交付金を除き、41億751万円、経営利益7千756万円を計上し、計画以上の成果をあげることが出来ました。これもひとえに組合員皆様の日々の営農努力と組合への結集の賜物と深く感謝申し上げます。」と挨拶しました。引き続き川瀬副町長をはじめ来賓挨拶を戴きました。

29年度当期末処分剰余金7千8百万円、剰余金処分案では出資配当（0・8%）、事業分量配当2千6百万円の明細が示され原案通り承認されました。

平成30年度の収支計画では、事業総利益が5億3千万円、経常利益は6千万円、当期末処分剰余金は4千6百万円を見込んでいます。

新年度の固定資産の取得については新事務所建築、馬鈴しょ選別施設ダンボール仕分装置更新、長芋用ハーフコンテナなど原案通り承認されました。



幕別町畜産祭り

平成30年度の幕別町畜産祭りが6月4日、南勢牧場多目的広場に於いて開催されました。当日は厳しい暑さではありましたが、天候にも恵まれ絶好の共進会日和となりました。町内各地の畜産農家の皆さんが丹精込めて育てた乳牛40頭、和牛19頭が出陳され、体型や毛並みを競いました。乳牛（経産）の部で当農協組合員出陳の「WR セス プレジャー マーテル」が見事最高位を獲得、また、「ノースジェラルディン ドアーズ フェイス」が準最高位に輝きました。

昼食にはバーベキューで参加者同士の交流を深めました。また、毎年恒例の『ジャッジングコンテスト』も行われ、一般の方も牛を間近に見ながらコンテストに参加しました。



(左) WRセス プレジャー マーテル

(右) ノースジェラルディン ドアーズ フェイス